

ごあいさつ(きららジュニアトライアスロンチャンピオンカップを終えて)

山口県トライアスロン連合

会長 西村 亘

今年の「2017きららジュニアトライアスロンチャンピオンカップ(以下当大会)」は、8月26日(土)に事故もなく無事終了しました。

当大会は、2001年にきらら浜で開催された「2001 ITUトライアスロン・ワールドカップ in きらら博」の前年にプレ大会として開催され、今回で17回目の開催となりました。

この間、関係者のご尽力により重大事故の発生もなく、県内外のキッズ・ジュニアが夏休みの貴重な体験としてトライアスロンを楽しんでまいりました。共催団体としても嬉しい限りです。

ただ現在、県内にはシニアの大会が開催されていません。このため、大会開催は当連合の命題となっているところです。もちろん、当連合としても拱手傍観している訳ではなく、県内各地の関係者と開催に向けて鋭意努力しているところです。



ご存知のようにトライアスロン競技は、2000年のシドニーオリンピックから正式競技として開催され、2020年の東京オリンピックでも正式競技として行われます。

国体においても昨年の岩手国体から正式競技として釜石市において開催されております。

また、近々、高校総体においてもトライアスロン競技の採用が予定されています。

このようなことから、キッズ・ジュニア選手の育成は、シニア大会

開催と同様に当連合の喫緊の課題となっています。

今年の6月には当連合主催の記録会をきらら浜において開催し、来年以降のシニア大会開催に向けて大きく踏み出したところです。

ただキッズ・ジュニアの育成については、指導体制を構築する必要があり、その一環としてこの度、当連合にキッズ・ジュニアの担当理事を指名しました。

また、山口市内のスポーツクラブからキッズトライアスロン教室の開設に向けての連携依頼もあったところです。

勿論、キッズ・ジュニア選手育成の要諦は、「保護者との連携」にあります。

皆さま一人一人が、キッズ・ジュニアの保護者への働きかけ、キッズ・ジュニアのトライアスロン競技へ関心を高め、継続して競技できる環境作りを整えれば大いなる発展に繋がるもの考えます。

どうか皆様のご協力をいただければ幸いです。